

Cisco Secure Clientを最新の状態に保つ

内容

[はじめに](#)

[概要](#)

[更新オプション](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Secure Client(CSC)を最新の状態に保つ方法について説明します。

概要

CSCは、Cisco Umbrellaを導入するための主要なローミングコンピュータエージェントで、AnyConnect 4.x RoamingセキュリティモジュールとスタンドアロンのUmbrella Roamingクライアントの両方にとって代わるものです。Cisco Secure ClientおよびUmbrellaモジュールを最新の状態に保つためのいくつかのオプションを使用できます。

更新オプション

新規：バージョン5.1.5.65の時点で、Cisco Secure ClientはUmbrellaダッシュボードのクライアント自動更新設定をサポートするようになりました。

また、クライアントを最新の状態に保つためのいくつかの代替方法も提供します。

1. 推奨：ほとんどの企業では、独自のデバイス管理プラットフォームを使用して、独自のペースでアップデートを管理することを好みます。この手順については、「Umbrella Module for Cisco Secure Client - Command Line installation and RMM reference」を参照してください。
2. Umbrellaダッシュボードから直接インストーラをダウンロードし、個々のマシンを更新できます。これは、実稼働デバイスで新しいバージョンを完全にコミットする前に、新しいバージョンを試す場合に特に適したオプションです。
3. AnyConnectVPNを使用しているお客様は、Web展開方式を使用できます。ダッシュボードからダウンロードした最新のヘッドエンド導入パッケージをVPNヘッドエンドにインストールすると、ユーザは次にVPNに接続したときに自動的に更新されます。
4. Cisco XDRを使用している場合は、CSCの導入を管理するためにXDRポータルを使用できます。
5. CSCのクラウド展開は、Cisco Security Cloud Controlを使用して管理することもできます。Cisco Security Cloud Controlのユーザガイドは、[ここ](#)から入手できます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。